

# さざなみ

須崎市教育研究所 発行  
令和5年8月21日

## 夏期合同研修会

先日は須崎市教職員合同研修会へのご参加を賜り、ありがとうございました。本年度は小中学校の教職員の皆様には Google Meet を利用してご参加いただきました。音声の不明瞭な部分や、講師の方の顔が逆光で見えづらいというご意見もいただき、来年度は会場の位置や開催する時間帯など、改善に繋がれたらと考えております。ありがとうございました。

皆さんの感想の一部を抜粋してご紹介いたします。

学校は、子どもたちにとって安心して安全な場所でなければいけないことを再確認することができました。子どもと触れ合う時間が長い学校の職員として、子どもの SOS を見つける力をつけていきたいと思います。

子どもを取り巻く教育課題 虐待事例を通してという演題での講演でしたが、教員の役割や関係機関との連携の方向性や重要性など、大変わかりやすい内容であった。また、現状の課題への対応策などもとても参考になる内容であった。組織の改変や人材の配置等早期に実現されることを願うものだった。

法律の成り立ちや、背景的なことも改めて気づくことができた。後半の事例や地域としての取り組みの方の事例をもっと聞きたかった。講師の先生の顔が黒くなって見にくかったので、もっと見て話を聞きたかった。

児童虐待について、子どものシグナルに気付くためのアンテナをはることや、学校が安全な場所であるように教師が児童との関わり方を考えていくことなど、改めて確認することができました。また、アメリカの教育現場で教員・SC が役割を分担し対等に子どもと関わって動いているという話をお聞きし、日本の教育現場の仕組みも変えていく必要があるのではないかと強く感じました。

子どもを取り巻く教育課題 虐待事例を通してという演題での講演でしたが、教員の役割や関係機関との連携の方向性や重要性など、大変わかりやすい内容であった。また、現状の課題への対応策などもとても参考になる内容であった。組織の改変や人材の配置等早期に実現されることを願うものだった。

話の骨子はわかったものの、具体的にどうすべきかは、おぼろげな感が残った。

実際の事例を交えて話を聞くことができて良かった。生徒に安全を提供する場として学校は機能していかないといけないと感じ、そのような雰囲気づくりをしていかないといけないと思った。

子どものシグナルを見つける力や学校としての適切な対応力の重要性を改めて確認できた。事案を検証した結果から何を活かすべきかなどを具体的に話していただき良かった。講師の熱い想いは伝わってきたが、発言内容等に配慮の必要があったのではないのでしょうか。

日々、教職員と情報共有をしたり、子どもや保護者と何気ない話をしたりする。全てを虐待と疑うわけではないが、少しでも気になることは頭に留めておき、子どもの SOS や違和感を感じたら、虐待かもしれないという視点をもって対応できるようにしていきたい。

児童虐待の法律や、事案が紹介されたことで、2学期からよりアンテナを張って生徒と接することが必要だと考えた。体罰事案が多く報道で取り上げられていることから、更に注意して指導に当たるようにしたい。準備・運営お疲れ様でした。ありがとうございました。

先生のお話を聞いて、生徒の様子から虐待の状況をみとる大切さと、学校が子どもの逃げ場所になっていかなければならないと思いました。体験による貴重なお話が聞けてよかったし、関係機関との連携をさらに深めなければなりませんでした。ありがとうございました。

生徒指導を担当させていただいていますが、虐待のサインを見落とさないということが参考になりました。何気ない子どもたちの行動にサインがあることを心に留めて接していかなければならないと思いました。

近頃、テレビやネットでも虐待のニュースが毎日のように報道されています。以前と比べると、法が整備されたり異変に気づいたら関係機関に相談（通告）したりという虐待防止の意識はだんだん高まっていると思います。しかし、児相などが把握していても、重大事件になっているケースも多く、実際に親子を引き離すという判断を他人がすることは責任も重く、とても難しいことだと思います。それでも早期発見やこどもへの聞き取り、関係機関への連絡と連携など、学校ができることを精一杯やって少しでも重大ケースに繋がらないようにしていきたいです。

虐待についてよく知ることができた。

先日登校日がありましたが、終業式の日とは子どもたちの様子が違って見えました。二学期の始業式にはもっと大きく変化していると思うので、様子をよく見つつ、小さな異変も取りこぼさないようにしたいと思います。

法律事務所での経験を中心とした貴重なお話を聞くことができ、学校現場でできることはSOSのシグナルを早期発見できるようにアンテナを張っておくことだと思うので、支援員として視野を広く持って接するように心掛けていきたいです。ありがとうございました。

教員とはまた違った視点での教育課題に対するご講演だったので、新しい視点を獲得することができました。ありがとうございました。

子どもを取り巻く社会問題が複雑化する中で教職員として何ができるか、何をしなければならぬかを改めて考えることができた研修でした。後半の話をもっと聞きたかったのですが、時間が足りず残念でした。

子供の変化に気づくサインや注意点について、事例を基に話をしていただき大変わかりやすく勉強になりました。この研修を通して確認したことを2学期の学校生活の中に教職員が一体となって連携を取って、早期発見対応など本校の子供を守っていききたいと思います。本日はありがとうございました。

皆様、お忙しい中アンケートにもご回答いただきありがとうございました。

弁護士という立場から様々なケースに関わってこられた岩城先生のお話の中には、2学期以降の生徒とのかかわりに生かせそうなこともあったのではないのでしょうか。

「何をすべきか」や「何ができるか」については、各校の実情に応じて、それぞれの先生方に考えていただかなければならないこともあると思います。須崎市教育研究所としても、今回の講話で得た気づきを教育支援センターでの関わり等に生かしていきたいと思っています。